

# 恵まれた地域人財とともに 子どもたちの笑顔あふれる学校へ

狭山市立御狩場小学校長

## 三 上 陽 照

### 一 はじめに



新任校長として着任した御狩場小学校は、お茶どころ狭山市入曽地区に、昭和五十八年に開校した学校である。現在、百九十五名の児童が在籍する小規模校で、四年生以外は担学級となっている。教職員は三十名ほど。学校周辺は住宅街で、複数の商業施設が隣接している。もちろん、少し歩くとお茶畑があちこちにある。

目指す学校像として「やさしい言葉と前向きな気持ちがあふれ、互いに成長できる御狩場小！ 自己肯定感を高め合える学校」を掲げ、新たな歩みに挑み始めた。

### 二 子どもたちのすばらしさ

期待の不安の入り混じる四月。入学式準備登校で出会った六年生の元気にあいさつする姿には大きな感動を覚えた。始業式で出会った二年生以上の児童も、体育館にこだまする素晴らしいあいさつ。

入学式のかわいらしい一年生も、元気なあいさつができ、瞳をキラさせながら話を聞く姿勢も立派。こうした子どもたちのすばらしさを教職員と共に、保護者や地域の方々と共に、これからも守っていききたいと決意を新たにしました。

### 三 チームワーク

小規模校であるがゆえの課題として、教員数が限られていることがまず挙げられる。各教職員が校務分掌を複数担当していくことになり、若手教諭も学年主任となり、教職員一人一人の負担が大きくなってしまふ。働き方改革が叫ばれる中で、この負担を軽減していく具体策を生み出していくことは、大きな責務と感じている。

しかしながら、本校の教職員の仕事ぶりと連携力には、感謝しかない。この教職員の良さを大切にしたいという願いから、校長だけには、「ちくむわく」と題した。校長会等の情報提供や指示伝達だけでなく、子どもたちや教職員の輝く姿を切り取り、感謝の思いを伝えていく中で、温かな絆が生まれいくことを心掛けている。

### 四 恵まれた地域人財と教育活動

本校の教育活動には、日常的に、地域の方々に多大なるご協力をいただいている。毎日の登下校の見守り、毎週の計算タイム、毎月のお話し会、読み聞かせ。さらには、放課後児童の居場所づくりとなる「みかりばっ子放課後教室」と、子どもたちの笑顔があふれる取り組みが充実している。

地域の方から、「子どもたちの笑顔が生きがい」とのありがたいお言葉を伺っている。

本年度から始動の学校運営協議会。地域の力に感謝しながら協働し、さらなる教育活動の充実につなげたい。

